

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念が開設当時のものであり、内容も一般的なものである。	時代に沿った、スタッフが共感しながら仕事ができる理念を掲げる。	友徳苑としての特色を盛り込み、スタッフ全員で理念を考える。	12ヶ月
2	2.35	地域とのつながりが希薄である。	地域との交流の機会となるような催しを企画する。	運営推進会議だけでなく、イベントや防災訓練等への参加を呼びかけ、市町村の協力を仰ぎながら交流の機会を設ける。	12ヶ月
3	6	事故件数が多い。玄関が施錠されている。	身体拘束廃止のに向けた取り組みを継続していく。	委員会等の活動により身体拘束廃止の啓発活動を継続的に実施する。 不必要な施錠を解除し、より開放的な施設を目指す。	12ヶ月
4	52	掘りごたつのスペースについて、入居者が自由に使用するには危険である。	居心地のよい共用スペースが確保できる。	掘りごたつのスペースについて、見た目は良いが、入居者にとっては実用的ではない。日常的に危険なく利用できるような活用方法を検討し、日常生活範囲の拡大につなげる。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。